



【教育 GP】原田先生フィールドワークゼミナール

第2回外来水生植物駆除作業（民・官・学が参加）

6月20日（土）守口市淀川左岸庭窪ワンドで行われた第1回外来水生植物駆除作業に続き、第2回外来水生植物駆除作業が11月21日（土）庭窪ワンドにて行われました。（※ワンドとは人工的な川の入り江のことです。）

外来水生植物の駆除作業は、外来水生植物の繁茂により水域の酸素欠乏や水底へのヘドロ堆積など、在来水生生物の生息環境に及ぼす悪影響を防ぎ、また、同時にゴミの回収を行うことにより環境保全の役割も果たしています。今回の作業には、国土交通省河川レンジャーと大阪府環境農林水産総合研究所・水生生物センター主催のもと、大阪府水道部や本学原田ゼミナール生のほか大阪産業大学の学生も加わり、民・官・学の連携の輪がさらに広がりました。このように若い世代が外来水生植物駆除作業に興味を持ち活動することは、作業がはかどることに加え、現代社会が抱えている問題を知り、考える良い機会であり、次世代への橋渡しの役割も担います。



上の写真の緑色の部分も陸ではなく外来水生植物です

トラックいっぱい草と乗りきれないゴミと草



作業開始前

1時間程経過

作業終了後

今回は庭窪ワンドの一部ではありましたが、外来水生植物の駆除をすることができました。原田ゼミナールでは今後も淀川の環境保全の研究と活動に取り組んでいきます。